

平成29年3月22日

「共に生きるアーツ ―障がいのある子供たちと芸術家によるコンサートと展示会―」の開催

文化庁では、特別支援総合プロジェクトの一環として、プロの芸術家と障害のある子供たちによるコンサートなどを行うことを通じ、障がいの有無にかかわらずあらゆる人々の相互理解へとつなげ、ひいては、共生社会の実現への一助となるよう「共に生きるアーツ」を文部科学省講堂において開催します。

1. 概要

障害の有無にかかわらず、文化芸術を通じて楽しむことのできる空間を提示し、これからの社会に適応した文化芸術の可能性を追求しつつ、この活動を記録し発信していきます。

特別支援学校の子供たちなどによる優れた作品に囲まれた舞台の中で、プロの芸術家と障害のある子供たちによるコンサートなどを行うことを通じ、お互いを尊重しながら共に生きる社会の実現に寄与することを期待しています。

2. 日時・場所

3月28日（火）12：15～14：15（※開場12：00）文部科学省3階講堂

3. 実施主体

主催：文化庁 共催：（一社）日本作曲家協議会 協力：東京藝術大学

4. 実施内容

別紙のとおり

<担当>文化庁文化部芸術文化課

課長補佐 小林 正浩（内線 2824）

文化部芸術文化課文化活動振興室

室長補佐 三浦 幹生（内線 2831）

電話：03-5253-4111（代表）

共に生きるアーツ

— 障がいのある子供たちと芸術家によるコンサートと展示会 —



平成 29 年 3 月 28 日 (火) 12 : 15 - 14 : 15

会場 : 文部科学省 3 階講堂

主催 : 文化庁

共催 : 一般社団法人日本作曲家協議会

協力 : 東京藝術大学

この取組は、文部科学省「特別支援総合プロジェクト」の一環で実施されるものです。

共に生きるアーツ

—障がいのある子供たちと芸術家によるコンサートと展示会—

1. 展示 会場ロビーにて美術作品の展示 ————— (社会福祉法人愛成会・東京藝術大学)

2. 書道のパフォーマンス ————— 金澤翔子

3. 対談 障がい者アーティストとの対談 ——— 金澤翔子・泰子、川島成道、松下 功、文部科学省政務三役*

4. コンサートプログラム

ヨハン・シュトラウス：ラデツキー行進曲

ヨハン・シュトラウス：春の声

マスネ：タイスの瞑想 (独奏：川島成道)

♪会場みんなで歌おう！

唱歌：春の小川 (オーケストラ伴奏版 編曲 川島素晴)

ふるさと (オーケストラ伴奏版 編曲 大政直人)

ベートーヴェン：交響曲 第9番より 第4楽章の抜粋

合唱：東京都立八王子特別支援学校生徒

♪オーケストラに入って聴こう！

松下 功：幻想曲「通りゃんせ」

出演：川島成道 (ヴァイオリン)

東京都立八王子特別支援学校生徒 (合唱) + 藝大有志4名
アンサンブル東風、藝大卒業生有志オーケストラ

指揮・お話：松下 功

出演者紹介

金澤翔子（書）

1985年目黒区に生まれる。5歳から母の師事で書を始める。20歳の時、銀座書廊で初個展。その後、鎌倉建長寺、京都建仁寺で毎年個展。奈良東大寺で揮毫・奉納、個展。福島に「金澤翔子美術館」を開設。27歳、NHK大河ドラマ「平清盛」揮毫。銀座に「銀座金澤翔子美術館」を開設。平泉中尊寺で揮毫・奉納、個展。熊野大社、巖島神社で揮毫・奉納。28歳、国体の開会式で揮毫。天皇の御製を揮毫。30歳、国連本部でスピーチ。ニューヨーク、チェコなどで個展。京都に「シナリー金澤翔子美術館」開設。愛媛県立美術館、福岡県立美術館で個展。三輪明神大社神社で揮毫・奉納、個展。大宰府天満宮揮毫・奉納、個展。比叡山延暦寺で揮毫・奉納。伊勢神宮に奉納。日本福祉大学客員准教授。

金澤泰子

金澤翔子の母。1943年生まれ、明治大学卒業。書家の柳田泰雲・泰山に指示。1990年、東京・大田区に「久が原書道教室」を開設。著書に『愛にはじまる』ビジネス社、『天使の正体』『天使がこの世に降り立てば』かまくら春秋社、『翔子の書』大和書房、『涙の般若心経』世界文化社、その他多数。久が原書道教室主宰。東京藝術大学評議員。日本福祉大学客員教授。

川畠成道（ヴァイオリン）

視覚障害を負った幼少期にヴァイオリンと出会い音楽の勉強を始める。桐朋学園大学卒業後、英国王立音楽院へ留学。1997年、同院史上2人目となるスペシャル・アーティスト・ステイタスの称号を授与され首席卒業。英国と日本を拠点にソリストとして精力的な活動を展開し毎年多くのリサイタルと国内外の主要オーケストラとの共演を行う。CDはファースト・セカンドアルバムがそれぞれ20万枚の記録的大ヒットとなって以来13枚をリリース。デビュー当初より積極的に国内外でチャリティコンサートを行う。中学音楽鑑賞教材や高校英語教科書、高校現代文教科書に映像や文章が使用される等、社会派アーティストとしても多方面に影響を与えている。

<川畠成道オフィシャルサイト <http://www.kawabatanarimichi.jp>>

東京都立八王子特別支援学校（合唱）

東京都立八王子特別支援学校は、八王子市を通学区域とする小学部・中学部・高等部から成る知的障害教育校です。知的障害のある子どもたちの教育がまだ義務化されていなかった昭和41年（1966年）に開校しており、今年度、創立50周年を迎えました。平成28年度は、77学級、442名の児童・生徒が在籍しています。本校は、一人一人の状態に応じ、各教科等や自立活動の専門的な教育を行うことにより、豊かな人間性や社会性を育み、地域社会の一員として社会参加・自立できる人材の育成を目指しています。どの授業においても「自分でやらないとやれるようにならない」を合言葉に、自立活動の基盤を整えることで、主体的・自発的な活動を実現しています。社会生活を営むための基礎・基本や社会性を身につけるとともに、数年前より「感情を育む」ことを目指して芸術教育にも力を入れるようになりました。本日、披露させていただく「歓喜の歌」は創立50周年記念式典のとき全員で歌った曲です。ドイツ語で歌うことで歌詞に込められたメッセージを届けたいと考えています。合唱同好会は、毎年、高等学校との交流活動等で舞台発表をしています。今年度は藝大の皆様と共に藝大アーツスペシャル2016の大舞台も経験させていただきました。美しい響きに触れ、音楽をする喜びを体感できたことに感謝しています。生徒たちが一生懸命にチャレンジするときの不思議な力を感じただけであれば幸いです。

アンサンブル東風

1982年にベルリンで結成・活躍した芸術集団の名を引き継ぎ、1999年に新たに若手作曲家と演奏家を中心的なメンバーとして結成された。既成作品・新作を問わず、作曲家・演奏家双方の積極的な意見交換によってプログラムを決めることを前提とし、双方の強力な信頼関係からなる活発かつ大胆な活動を目的としている。メンバー個々の活動も含め、韓国、台湾、タイ、ミャンマーなどの音楽祭に招へいされるなどアジアでの活動実績が非常に多い。特に日本を含めたアジアの作曲家たちによる作品を積極的に紹介するアンサンブルとして注目を浴びている。

松下 功（指揮）

東京藝術大学、同大学院修了。ベルリン芸術大学に留学。86年、第7回入野賞受賞。98年に長野冬季オリンピック文化プログラム・オペラ「信濃の国・善光寺物語」や閉会式選手入場の音楽を作曲。2000年、和太鼓協奏曲「飛天遊」が、ベルリンフィル・サマーコンサートで演奏され好評を博す。1999年～2004年、2014年～再びアジア作曲家連盟会長を務める。東京藝術大学副学長、東京藝術大学演奏芸術センター教授。作曲家。指揮者。日本作曲家協議会会長。

社会福祉法人愛成会

人はみんな、自分の人生の主人公 気持ちをくみとり、ひとり一人のエンパワメント

昭和33（1958）年に創立後、中野区にて障害のある方々一人ひとりが望む生活の実現に努めてきました。平成22（2010）年には入所施設の建て替えに伴い、全居室を個室化し、プライベートを重視した生活スタイルを提案しています。また、「仕事」と「プライベート」の時間や空間を分けることで、一人ひとりの「暮らし」を作ることに重きを置いています。現在、施設入所支援をはじめ生活介護や就労継続支援B型、相談支援、共同生活援助、芸術文化を通じた障害の理解啓発活動、アトリエの開催などの事業を実施しています。

障害者の創作活動を支援・発信する担い手として

「中野区にある社会福祉法人として、利用者と共に、地域づくり・街づくりへ寄与していくこと」を目指し、障害のある方々の創作活動の支援と発信を行っています。

平成16（2004）年には、所属や年齢、障害の有無を問わない多くの人々が集まり表現する場として「アトリエ pangaea（ぱんげあ）」を設立しました。また、平成22（2010）年からは、中野区内の商店街や地域の方々、国内外の美術館などとの協働にて、日本のアール・ブリュット作品を中心とした芸術文化発信の取り組みを行っています。これらの活動を継続することにより多様な価値観が広く普及し、障害のある方への理解促進、及び「誰もが地域や社会の一員として尊重される」コミュニティづくりの実現に寄与するものと考えています。

